



妊娠・出産を
考えるあなた、
結婚を機に
風しん予防の
取り組みを。

これまででも、これからも。
女性がいちばん輝く日を、風しん予防の記念日に。

2020

今年度は抗体検査を無料で実施しています(平成27年3月31日まで)

感染症・予防接種相談窓口 ☎03-5276-9337

受付日時：午前9時～午後5時(土日祝日、年末年始を除く)

増えています、大人の風しんの患者さん

近年、大人で風しんにかかる方の割合が増えています。風しんの患者さんは、過去に定期的予防接種を受ける機会のなかった30～40代の男性や予防接種率が低かった20～30代の男女で多くみられています。特に、

1962～1989年生まれの **男性**

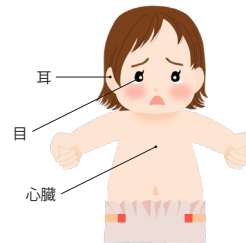
1979～1989年生まれの **女性**

は風しんへの
免疫(抗体)
を持たない
方の割合が
他の年齢よ
りも高いため
注意が必要です。



風しんは、なぜこわい？

風しんは**風しんウイルスにより感染**し、発熱、発疹、リンパ節のはれなどの症状を引き起こします。症状は軽いものがほとんどですが、はっきりした症状がないため気づかずに周りの方へ感染を広げてしまうことがあります。また、**妊娠期間の前半**(20週頃まで)に**妊婦が感染**すると、生まれてくる赤ちゃんの**目や耳、心臓などに障害**が生じる可能性があります(先天性風しん症候群)。そのため妊娠・出産を考えている女性は特に、事前の風しんの予防が大切なのです。



妊娠の前に、風しんの予防の確認を

妊娠中の風しん感染を予防し、**先天性風しん症候群**の発生を防ぐには、妊娠前の予防接種によって、**風しんの免疫を獲得する(抗体をもつ)**ことが重要です。**妊娠してからでは風しんの予防接種を受けることができません**。風しんの予防接種を受けているか分からず、風しんにかかったことも確実ではない場合には、風しんの予防接種を検討するか、まずはご自分の風しんへの免疫(抗体)を**血液検査**で確認してみることをおすすめします。

※今、多くの自治体では、抗体検査を無料で受けることができます(抗体検査費用の助成事業を2015年3月末まで実施)。将来の妊娠・出産を考える機会には、風しんの予防についても考えてみてください。

※お住まいの地域の助成事業の実施状況や抗体価検査を受けられる医療機関については、お近くの保健所等の自治体窓口にご確認ください。

〈お住まいの近くの自治体〉 http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/hokenjo/index.html

予防のカギは「家族も風しんの予防」

もし、妊娠の後に妊婦が風しんの免疫を持っていないことが分かった場合には、周りで生活している**同居の家族の方**などが、風しんの予防を行うことで、妊婦が風しんに感染する**危険性を下げる**ことができます。

感染症・予防接種相談窓口

受付日時：午前9時～午後5時(土日祝日、年末年始を除く)

☎03-5276-9337

※インフルエンザ・性感染症・その他感染症・予防接種について相談にお応えします。

※行政に関するご意見・ご質問は受け付けておりません。

